



資料提供

令和8年3月27日
課名：平和推進プロジェクト・チーム、
(一社)へいわ創造機構ひろしま (HOPe)
担当者：山本 (平和推進 PT)、
武島 (HOPe)
内線：2368 (平和推進 PT)
直通電話：082-513-2368 (平和推進 PT)
082-209-1234 (HOPe)

アイダホ州立大学関係者が横田知事を表敬訪問します

表敬後、被爆80年特別プログラム参加者による発表も実施

【日時:3月31日(火) 15:30~16:00 場所:県庁北館2階 第1会議室】

米国アイダホ州立大学の学長、同大学幹部及び外部顧問が、知事への就任の御挨拶のため横田知事を表敬訪問されます。

アイダホ州立大学と広島県は、被爆80年の節目に広島県/へいわ創造機構ひろしまが主催した「被爆80年人材育成プログラム」において連携しており、当プログラム参加者の高校生・大学生は、昨年9月にアイダホ州立大学を訪問し、現地の大学生とともに、講義やワークショップをしながら、核兵器を巡る国際情勢などに対する認識を共有しました。

知事表敬の後には、当プログラム参加者がプログラムを通じて作成した、核兵器が使用された際のワースト・シナリオとその回避策を同大学関係者に向けて発表予定です。

広島とアイダホ大学との交流をぜひともご取材くださいますよう、お願いいたします。

1 表敬訪問の概要

(1) 日時 令和8年3月31日(火) 15:30~16:00

(2) 場所 県庁北館2階 第1会議室

(3) 出席者 アイダホ大学 スコット・グリーン学長

ガブリエラ・グリーン学長夫人

ショーン・クインラン文学・芸術社会科学学長

その他同大学外部顧問 14名

被爆者 小倉桂子 氏

広島県知事、へいわ創造機構ひろしま (HOPe) 会長 横田 美香

(4) 内容

ア 横田知事による歓迎の挨拶

イ アイダホ大学関係者代表者挨拶

ウ 歓談

エ 記念品贈呈・記念撮影

※ 終了後、16:00~16:50まで「被爆80年人材育成特別プログラム」参加者によるアイダホ大学関係者への発表を実施。

※ プログラムの内容は別紙参照

※ 取材の事前申し込みは不要

被爆 80 年人材育成特別プログラムについて (被爆・終戦 80 年「若者達が集い、未来に平和をつなぐプロジェクト」)

1 要旨・目的

被爆者の平和への想いを受け継いだ若者が、広島大学等との連携による専門講座等を通じて、核兵器を巡る国際情勢と歴史に関する知識を深め、平和な未来を築く取組を広く国際社会に発信する機会を創出することにより、核兵器を取り巻く厳しい国際情勢の打破及び、国際社会で活躍できる若者の専門キャリア形成支援を図る。

2 概要

(1) 実施主体

広島県 / へいわ創造機構ひろしま (H O P e)

(2) 参加人数

10 名 (大学生 3 名、高校生 7 名) ()

() 広島県内の高校・大学に通う又は広島県出身で県外の高校・大学に通う 20 歳以下の生徒・学生のうち、既に被爆者との交流や被爆体験講話聴講、その他の平和活動等、被爆の実相の学習について十分な経験を有し、それらを踏まえた上での今後の活動について独自の方法や考えに基づいて発信する力を有する者を公募の上選定。

(3) 実施期間・場所及び実施内容

ア 専門知識の習得

(ア) 時期：令和 7 年 8 月 25 日(月)～令和 7 年 8 月 29 日(金)

(イ) 場所：広島市内

(ウ) 内容：核軍縮・不拡散、人道・規範、国際政治、A I 活用等

イ 国外研修

(ア) 時期：令和 7 年 9 月 14 日(日)～令和 7 年 9 月 21 日(日)

(イ) 場所：米国 (アイダホ州モスコー市、ワシントン D . C .)

(ウ) 内容：核兵器問題を巡る国際情勢や政策に関する研修

ウ 発信

(ア) 時期：令和 7 年 12 月 14 日(日)

(イ) 場所：エソール広島 研修室 1、2 (オンラインでも参加可能)

(ウ) テーマ：次の一步は私たちから 核兵器使用の回避に向けた提案

(4) 監修者

専門性の高さや、核兵器に対する立場の異なるスタンスをとる者から次の二名にプログラム全体を監修いただいた。

・ 広島大学平和センター 戸崎洋史准教授

・ 一般社団法人核兵器をなくす日本キャンペーン 事務局スタッフ 浅野英男氏

(5) 連携機関

ア 広島大学

イ 米国アイダホ大学

米国の若者との核兵器問題・国際平和に関するグループワーク等交流事業を実施。

(同大学は広島大学学生や研究者が平和や環境など幅広いテーマで交流することを目的として学術交流協定を締結 (R 5 . 3)。)

ウ 米国シンクタンク等

国外研修において、軍備管理協会、ハドソン研究所、カーネギー国際平和財団、核脅威イニシアティブ (NTI) に訪問し、参加生徒とシンクタンク研究員との意見交換を実施。

訪問先については、核兵器の使用に対して、異なるスタンスをとる機関を訪問した。

被爆 80 年人材育成特別プログラム日程

【「ア 専門知識の習得」スケジュール】

月日	時間	研修内容
8/25 (月)	10:00-12:25	オープニング、アイスブレイク 生成 AI の活用について (講師: ソフトバンク株式会社)
	13:20-15:40	世界情勢、安全保障環境、核兵器の使用可能性への理解 (講師: 元軍縮会議日本政府代表部大使 高見澤将林氏)
8/26 (火)	9:00-11:30	核兵器使用の直接的影響 (講師: 広島大学平和センター教授 川野 徳幸氏)
	12:30-15:00	核兵器が使用された際に起こりうること (元長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) センター長 鈴木達治郎氏)
8/27 (水)	10:00-12:20	アイダホ大学学生とのワークショップのための予行演習 (英) (講師: アナリス・ガイズバート氏)
	13:20-15:40	シナリオ作成ワークショップ
8/28 (木)	10:00-12:20	核軍縮と不拡散の現状と課題 (講師: 長崎大学多文化社会学部 教授 西田 充氏)
	13:20-15:40	核兵器禁止条約と規範形成の視点 (講師: Peace Boat 共同代表、ICAN 運営委員 川崎 哲氏)
8/29 (金)	10:00-11:40	核軍縮・不拡散の議論の振り返り、シナリオ等の検討
	12:40-14:20	核兵器問題、核兵器廃絶の振り返り、シナリオ等の検討

【「イ 国外研修」スケジュール】

月日	場所	研修内容
9/14 (日)		日本からモスクーへの移動
9/15 (月)	米国 モスクー	アイダホ大学職員による講義など
9/16 (火)		日米ユース共同ワークショップ (プレゼンテーションやディスカッション)
9/17 (水)		モスクーからワシントン D.C. への移動
9/18 (木)	米国 ワシントン D.C.	核兵器関係のシンクタンク訪問・意見交換 ・軍備管理協会 (Arms Control Association) ・カーネギー国際平和財団 ・核脅威イニシアティブ (NTI) ・ハドソン研究所
9/19 (金)		エノラ・ゲイ (ウドバー・ハジー・センター) 視察
9/20 (土)		ワシントン D.C. 発
9/21 (日)		日本帰国、広島着